

新版『中学書写』教科書Q&A

新しい教科書には、これまで以上にさまざまな工夫が盛り込まれています。先生方からのご質問に答える形で、その一部をご紹介します。



Q1 これまでの教科書と比べて、どんなところが新しくなりましたか。

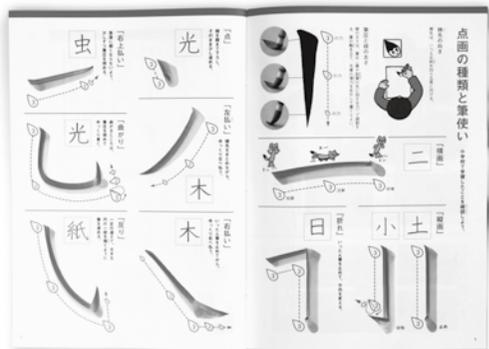
A1 短時間で効率的に学べるよう、一教材一見開きのコンパクトな構成とし、全教材に「学習の窓」を設けました。

中学校における書写の標準時数は、一、二年で各二十時間、三年ではわずかに十時間。生徒は週一度に満たない授業の中で、「行書」を一から学びます。

そこで新版では、短時間で効率的に「書く力」を身につけられる教科書を目ざしました。中学校で学習すべきことを精選し、教材数を最小限に抑えています。そ

の代わり、一つ一つの教材でねらいを焦点化し、効率的に力をつけられるよう工夫しました。各教材は、一教材一見開きのコンパクトな構成とし、汎用性のある書き方のこつを「学習の窓」にまとめました。学習の目的や流れが、一目でわかるようになっていきます。

基礎編



▲ P6-7 楷書の筆使い



▲ P8-9 楷書の字形・配列

学習編

1教材1見開きのコンパクトな構成

汎用性のある書き方のこつがひと目でわかる、「学習の窓」を新設しました。

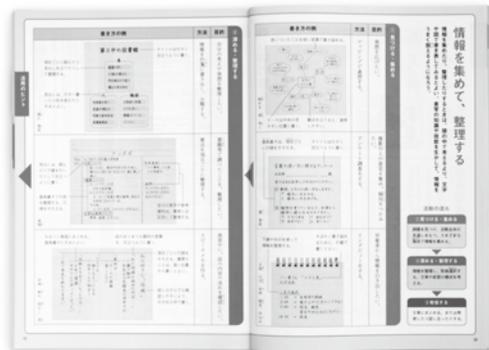


▲ P26-27

資料編



▲ P76-77 書写力活用のヒント



▲ P68-69 国語との関連

Q2 「基礎編」「学習編」「資料編」に分かれています。それぞれに使うのですか。

A2 必修は本編である「学習編」のみです。基礎・基本の確認には「基礎編」、学習を広げたり日常に生かしたりするには「資料編」をご活用ください。

可能な限りスリム化した「学習編」を軸に、必要に応じて「基礎編」「資料編」を取り入れていただくことで、地域や学校、生徒の特性に合わせた柔軟なカリキュラムを実現できます。

「基礎編」……小学校での学習内容をまとめました。授業びらきや書写の基礎・基本を押さえたときに使えます。

「学習編」……中学校での学習内容を、

一教材一見開きでコンパクトに示しました。短時間で効率的に基礎・基本を習得することができます。

「資料編」……定型書式の書き方や、書写力活用のヒント、常用漢字表をはじめとする文字資料を収めました。生徒が文字を書こうとする全ての場面でご利用いただけます。

▼教材に関連した動画



筆使いを動画で確認できます。

▼教科書紙面ビュー

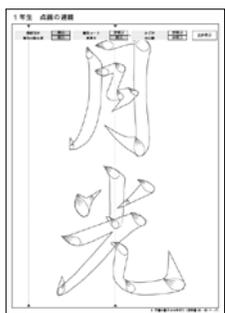


部分拡大や書き込みができます。

毛筆原寸大資料
(冊子・DVD)



▲▼教材に関連した毛筆
ワークシート

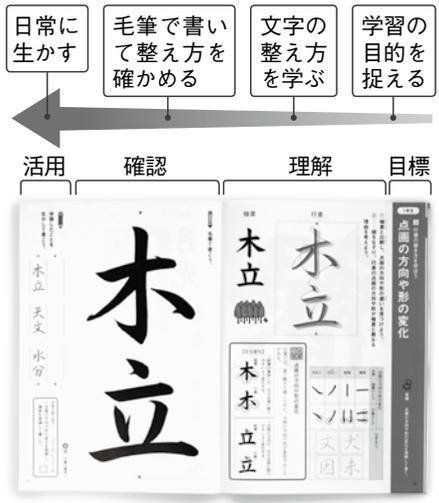


付属DVD収録の毛筆原寸大資料では、穂先・籠字・骨書き等、必要な要素だけを表示して練習用紙を作れます。

学習指導書「朱書編」

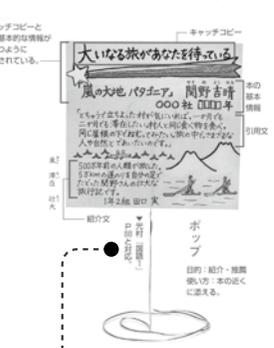


学習指導書付属DVD



▲ P26-27

▼学習指導書「朱書編」P77



「国語」との関連は学習指導書「朱書編」で示しています。

光村図書の『国語』とは、全二十七か所で関連を図っています。関連箇所は、全て学習指導書「朱書編」に示しました。国語で学んだ詩歌や古典を書くだけでなく、書写の知識・技能を生かしてレポートや新聞を書いたり、情報をわかりやすく整理したりする方法が示されています。同じ作例を扱っていても、国語は文章の書き方や読み方、書写は文字を読みやすく書くための工夫に特化していますので、合わせて使えば、相乗的に学習効果を高めることができます。

A3 作品として美しく仕上げる
ことよりも、文字の整え方を学ぶことを重視している
からです。

Q3 なぜ、毛筆文字を教材の初めに
掲げないのですか。

A4 国語で学んだ文章を書くだけでなく、書写で学んだ知識・技能を国語に生かす、具体的なヒントが示されています。

Q4 国語との連携は、どのような形で
図られていますか。

A5 学習指導書「朱書編」や、付属DVDの動画資料「毛筆原寸大資料」を、ご利用いただければ、授業効率が上がり、ご負担もぐっと軽くなります。

Q5 自分の字に自信がなく、書写の指導がおっくうです。何をどう教えればよいのでしょうか。

行書の「筆脈」や「筆使い」を伝えるには、書いて見せるのがいちばんです。ただ、生徒に目配りしながら範書をするのは、大変なことです。学習指導書付属DVDの動画を使えば、手元に寄った画像で筆脈まではつきりと確認できます。また、拡大投影した教材文字にポイントを書き込み、クラス全員で共有することも可能です。指導のポイントや板書のしかたは「朱書編」をご覧ください。学習指導書は、授業を強力にサポートします。

連携

